

スリーハート

第 8 号 平成 26 年 1 月 7 日 (水) 発行

人権について考え、学んだ12月

1948年(昭和23年)12月10日の世界人権宣言が採択されました。これを受け、翌年より、毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日から同月10日まで)が、「人権週間」と定められ、人権について考える取組が全国で行われています。甚目寺西小学校でも、毎年、様々な取組を実施しています。今号に紹介させていただいた取組を通して、子どもたちは、「いじめや差別が絶対に許されない行為であること」や「互いを気遣い、思いやることがどんなに大切なことであるか」について改めて学ぶことができました。人権週間にちなんで、多くのことを考え、学んだ12月でした。

12月2日(火)

『阿波木偶箱まわし』は、お正月を祝う祝福芸の一つとして昔から大切にされ、本来は、二つの箱に四体の『木偶(でこ)』いわゆる木彫りの人形を入れ、家々を回って御祝いをされるものです。その際、訪れる家の人との『温かいふれあい』の素晴らしさが、何ものにも換えがたいものだそうです。この日は、徳島県から阿波木偶箱まわし保存会の皆さんに来ていただき、生で『阿波木偶箱まわし』を見せていただくことができました。自然と豊かに共生していた時代に、一年の幸福をもたらしてくれる素晴らしい伝統文化にふれるとともに、子どもたちも職員も、人と人が互いを思いやり、温かくかかわり合っていくことの大切さを学ばせてもらいました。

阿波木偶箱廻し



- お礼の合唱を贈る子どもたち -

- からくり人形の操作体験をする児童 -

東北応援プロジェクト

～寒中見舞いの絵手紙を送ろう！～

12月8日(月)

東日本大震災から3年が過ぎましたが、今なお、避難生活を余儀なくされている方がたくさんみえます。この愛知県にも478世帯が避難されているそうです。そんな方々を励まそうと、あま市では昨年度より、「愛知県に避難されている方に寒中見舞いの絵手紙を送ろう！」活動に取り組んでいます。本校でも、全校児童が心を込めた絵手紙を描いてくれ、この日は、被災者の代表の方に、絵手紙を送る会が開かれ、児童会長が代表で出席しました。絵手紙を手渡すと、「閉ざされかけた心を、この温かい手紙のおかげで、もう一度開かせることができました。ありがとう」と、心から喜んでくださいました。



「心を込めて描いた絵手紙です」
-被災者の方へ手渡す児童会長-

あま市で集まった絵手紙
【2,674枚】

12月9日(火)

福祉実践教室は、1981年(昭和56年)の「国際障害者年」を記念し、障がいのある人への正しい理解と福祉向上をめざすことを目的として開始されました。本校でも、「あま市社会福祉協議会の協力」を得て、毎年実施しています。この日は、障害のある人と、その人たちを支えてみえる方々を本校へ招き、4年生以上を対象に、福祉実践教室を開きました。車いす体験では、ほんの少しの段差が、「こんなにも大きな障害」となることを改めて学び、子どもたちは、「町で困っている人を見かけたら、すぐに助けてあげたい」と、活動を振り返っていました。

福祉実践教室



-手話体験講座-

-車いす体験講座-

-点字体験講座-

わくわくドッジ・にこにこ給食

12月17日(水)

児童交流活動にも力を注ぐ本校では、定期的に、縦割り班活動「わくわくタイム」を設定しています。この日も、皆でドッジボールを楽しみ、その後は、いっしょに給食を食べました。下級生のことを優しく気遣う上級生と、そんな心配りに支えられて、笑顔で楽しむ下級生の様子を見て、心がポカポカしてきました。



-リーダーによる開会式-

-ドッジボールを楽しむ児童-

-初めのあいさつ-